

2025年6月26日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目 1 2 番 5 号
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則
(東証グロース：4316)
問合せ先：取締役経営管理部長 大谷 英也
(電話 03-5297-2181)

上場維持基準の適合に向けた計画の進捗状況（改善期間入り）について

当社は、2021年12月3日に、「グロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画書」（以下「適合計画」）を提出し、2023年6月22日・2024年6月25日にその変更を行い、内容についてそれぞれ開示しております。

2025年3月末時点における適合計画の進捗状況等について、下記の通り作成しましたので、お知らせいたします。また、先般5月30日付にて、中期計画（事業計画及び成長可能性に関する事項）を公表させていただきましたので、従来の適合計画の前提についても見直しを行っております。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の 2025年3月31日時点【又は「基準日時点」、以下同じ。】におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、時価総額については基準に適合しておりません。当社は、今回不適合となった時価総額基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。なお、時価総額基準について、次の基準日である 2026 年 3 月 31 日までに適合できなかった場合、当社が潜在株を保有する場合は東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後審査の結果、時価総額基準 に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定（当社が潜在株を保有していない場合は基準日時点で整理銘柄に指定）され、当社株式は 2026 年 10 月 1 日に上場廃止となります。

		時価総額
当社の適合 状況及びそ の推移	2021年6月30日時点（移行基準日）	20.4億円
	2023年3月31日時点	15.2億円
	2024年3月31日時点※	12.7億円
	2025年3月31日時点※	12.2億円
上場維持基準		40億円以上
適合状況		非適合
計画期間		2026年3月末

（注意） 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組実施状況及び評価（2021年12月～2025年3月）

時価総額について

<計画の骨子>

- ① 中期経営計画の推進、的確なアップデートによる業績向上
- ② I Rを含む企業情報の積極的な発信

<取り組み状況>

- ① 中期経営計画の推進、的確なアップデートによる業績向上

2025年3月末（改訂前）における中期計画の数値目標と実績は以下の通りです。残念ながら計画とは差異が生じました。

	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	2027年3月期
	計画	実績	計画	実績	計画	計画
売上高	1,800	1,598	1,900	1,494	2,000	2,400
・ワイヤレス・イノベーション	780	703	800	418	820	850
・モビリティ・イノベーション	120	119	150	99	180	250
・ソリューション	900	775	950	975	1,000	1,300
（うちMMSマーケティング）	(450)	(359)	(475)	(439)	(500)	(550)
営業利益	10	-71	50	-182	100	250
経常利益	10	-72	50	-190	100	250
親会社株主に帰属する当期純利益	10	155	30	-179	60	180

具体的な各事業の進捗・営業状況については、2025年6月4日に公表し「事業計画及び成長可能性に関する事項」（同6月26日開示の訂正開示も含む）と同5月14日に公表した2025年3月期決算短信をご参照下さい。

コロナ禍等による通信・鉄道などインフラ事業者による設備投資削減など事業環境の変化を受け、将来的な収益化を期待できる新規テーマ（モビリティ事業分野におけるただちケ、ソリューション事業分野におけるおうちモニタ・アパらくWi-Fiなど）に積極的に取り組んで参りましたが、事業化の遅れにより、直近では3期連続して計画を下回り利益剰余金のマイナスが5.7億円に拡大いたしました。これにより、2025年3期決算においては、継続企業の前提に関する注記を付す事態となりました。

一方で、新規テーマが立ち上がりつつあり、また、2023年1月に子会社化した株式会社MMSマーケティングがソリューション事業分野の今後の数値を押し上げる見込みであること、などを考慮し、前提とする中期計画の見直しを行いました。

（注意）本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

② I Rを含む企業情報の積極的な発信

取り組み	実 績	
I R発信	計画内	機関投資家向け →説明会は集客見込みが限定的であり、関心度合いに応じた個別ミーティングにて対応中 個人投資家向け →株主総会・事業説明のWEB配信を実施。IRに特化して中期計画の内容を含めた説明会を設ける予定だったが、新規テーマ出遅れ・アピール不足により、開催タイミングが取れず保留中。事業関係の説明会には、個人投資家の参加が散見されるためテーマを充実・整理してIRに特化した説明会を準備したい。
	計画外	事業本部内に広報専任者を設置し、事業内容のリリース・メルマガ配信強化、メディアへの対応を実施。事業内容に関する発信の後に時価総額（株価）が上下するケースがあるため、IR 部署との連携強化が課題。
当社独自のチャンネル	計画内	SNSでの情報配信を開始。週1回以上の投稿を継続している。採用関係と一部サービスの利用者に片寄りが見られ、今後PRに努めたい。 フォロワー：Instagram 350、facebook 43、X 78 (子会社こんぷりん 1,698)

取り組みは進めているものの、十分な成果は上げていない状況です。

③ 株主還元策

進捗ありません。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏えた今後の課題と取組内容

時価総額について

① 中期経営計画の推進、的確なアップデートによる業績向上

新たな中期計画における各事業分野での主要な取り組みは以下の通りです。

- ・ ワイヤレス・イノベーション事業分野においては、主要顧客であるNTTBP等通信事業者とのビジネスを継続しつつ、多様な無線規格に対応
- ・ モビリティ・イノベーション事業分野においては、QRデジタルきっぷを活用した送客・発券ビジネス（とくちけ）の拡大、私鉄等の鉄道アプリへの技術協力を継続
- ・ ソリューション事業分野においては、子会社と共同して新規分野であるMMS・02020を中心に事

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

業拡大、新テーマであるおうちモニタ、こんぷりんのサービス拡大で更なるアップを目指す売上高の見通しについては、子会社を含めたソリューション分野が拡大する見通しを立てており、原価については売上規模の拡大に伴う漸減、販管費については、若干の人員増に伴う微増を想定しております。

これらの取り組みの詳細は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照ください。

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期
	実績	計画	計画	計画
売上高	1,494	1,900	2,000	2,400
・ワイヤレス・インベーション	418	650	650	700
・モビリティ・インベーション	99	150	150	200
・ソリューション	975	1,150	1,200	1,500
（うちMMSマーケティング）	(439)	(600)	(650)	(800)
営業利益	-182	50	100	250
経常利益	-190	50	100	250
親会社株主に帰属する当期純利益	-179	30	60	180

② I Rを含む企業情報の積極的な発信

WEB説明会を開催し、各種発表やSNSの継続的発信を通じて当社と当社事業の理解を深めていただく努力を行います。

以 上

（注意） 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。